

OpsRamp よくあるご質問一覧

お問い合わせの多い内容と回答を以下に記載いたしましたので御参照ください。

目次

●全般	2
Q. ITIL 等のベストプラクティスに基づいたプロセスとありますがどのようなメリットがありますか？	2
Q. サポートしているハードウェア、ソフトウェア、クラウドベンダーは？	2
Q. デバイスの数え方は？	2
Q. Agent をインストールすることによりできることは？	2
Q. Gatewayをインストールすることによりできることは？	2
Q. Gateway Serverの必要なスペックは？	2
Q. 他のソフトとの連携について？	2
Q. リモート接続の方法と推奨の回線スピードは？	3
●機能	3
Q. デバイスの自動ディスカバリと監視の自動設定とは？	3
Q. 監視機能はどんなことができますか？監視の方法と項目は？	3
Q. 自動アラートエスカレーションとは？	3
Q. サービスデスク機能（チケットング機能）とは？	3
Q. ロールベース・アクセス制御とは？	3
Q. 環境変更手順に従った IT 運用管理の自動化（ランブックオートメーション）とは？	4
Q. パッチ管理機能とは？	4
Q. 証跡管理レコーディング機能とは？	4

●全般

Q. ITIL 等のベストプラクティスに基づいたプロセスとありますがどのようなメリットがありますか？

A. IT サービスマネジメントのベスト・プラクティス（成功事例）を集めたフレームワークで IT 運用の知識・ノウハウが集約されています。最適な運用管理を実現する一つの目安となります。

Q. サポートしているハードウェア、ソフトウェア、クラウドベンダーは？

A. 広範囲にカバーしています。プレゼンテーションファイルに記載されているメーカーの他にもサポートしていますので個別のメーカー名は営業までお問合せ下さい。

Q. デバイスの数え方は？

A. 物理サーバおよび仮想サーバ（VM）の単位でカウントします。ストレージ、ネットワークも 1 デバイスとなります。

Q. Agentをインストールすることによりできる事は？

A. Agentの役割はインストールした端末のOS情報やパッチ適用情報などのインベントリ情報を収集し端末のリソース状況の監視やパッチの管理、自動化の管理を行うことが可能になります。

Q. Gatewayをインストールすることによりできる事は？

A. Gatewayの役割は2つあり、一つ目はAgentとOpsRampプラットフォーム間の中継サーバとしてAgentが収集した監視データをGatewayで集約してOpsRampに送信することが出来ます。二つ目はAgentをインストールできない端末やネットワークに接続された機器に対して生死監視やWebの稼働監視、アプリケーションの監視を行うことが可能になります。

Q. Gateway Server の必要なスペックは？

A. 管理対象が 100 デバイス以下の場合

物理環境 3.0GHz CPU, 4GB RAM, 150GB HDD, 1NIC

Virtual 環境 4Virtual CPU, 4GB RAM 40GB HDD,
1NIC (Supported VM/ESXi, Xen, KVM)

500 デバイス、1000 デバイスのケースは別途弊社営業までお問い合わせ下さい。

Q. 他のソフトとの連携について？

A. API連携については実績のあるソフトがあります。ZABBIX、Nagios、New Relic、NimSoft、SCOM、ServiceNow、JIRA等の60種以上のソフトと連携が可能です。最新の情報は営業までお問合せ下さい。

Q. リモート接続の方法と推奨の回線スピードは？

- A. SSL 接続となります。回線のスピードは監視対象のデバイス数や使用する機能によって異なりますので、営業までお問合せ下さい。

●機能

Q. デバイスの自動ディスカバリと監視の自動設定とは？

- A. オンプレミス及びクラウド環境のリソースを自動的に探索し、管理運用対象となる機器を検出します。検出後、予め設定したポリシーに従いモニターを適用して監視を自動的にスタートすることが可能になります。業界標準のSNMP、WMI(Windows Management Instrumentation)、ARPを使ってデバイスの自動検出を実施します。パブリッククラウドはAmazon、Azure、Rackspace等の実績があります。

Q. 監視機能はどんなことができますか？監視の方法と項目は？

- A. デバイスの死活管理、ハードウェアやアプリケーションのパフォーマンスをモニタリングすることが可能。業界標準の MIB、WBEM、CIM、SMIS を使用して情報を取得。
監視項目；
サーバ／CPU、Memory、Disk 使用率 （監視の間隔、アラートの設定）
ネットワーク／レスポンス時間、パケットロス、Buffer 使用率
ストレージ／Disk 使用率、Volume 単位の使用率とオンライン状況

Q. 自動アラートエスカレーションとは？

- A. 事前に登録したアドレスへ自動的にメールを送ります。パトランプやその他機器との連携も可能です。

Q. サービスデスク機能（チケットینگ機能）とは？

- A. サービスリクエストの作成、リクエストの開始から終了までの履歴管理。リクエストの内容、優先度合、担当者、対応時間等を一覧で管理。

Q. ロールベース・アクセス制御とは？

- A. 役割に応じて対象機器、ロケーション、サービス内容別に細かくアクセス権限を設定できます。閲覧・管理権限をコントロールすることにより、システム運用上のコンプライアンス強化、複数のグループにセキュリティの高い環境を提供します。

Q. 環境変更手順に従った IT 運用管理の自動化（ランブックオートメーション）とは？

A. 予め設定した変更手順に従い運用・保守に関する定型業務を自動化します。
ジョブスケジュール型スクリプト、イベントトリガー型スクリプトを提供しています。

Q. パッチ管理機能とは？

A. パッチ適用の承認プロセス、適用スケジュール管理、成功／失敗のレポート、システムリブートが必要な場合のアラート。パッチの適用状態と適用プロセスの管理を提供します。

Q. リモート操作証跡録画機能とは？

A. 操作内容を記録することにより特権ID管理としてまた、システムの誤操作・不正操作のリスクを低減します。